

総合戦略事業 進捗状況

資料6-2

総合戦略に掲げる目標の達成状況は次のとおり。目標値について、戦略期間である平成27年度から平成31年度までのうちに達成することが目標（時点設定があるものは除く）。実績値を把握するのに調査が必要なものは、実績値の欄が「-」となっている。

【達成度の説明】

- ◎：目標値を達成済み
- ：目標値達成に向けて概ね順調
- △：目標値の達成が厳しい

基本的戦略1 「里都まちブランド・里都まち「耕業」による地域経済活性化戦略」

◇基本目標

指標	基準値（初期値）	目標値	実績値	達成度	実績値の時点	備考
新規就農者数	4戸	4戸 → 10戸	12戸	◎	直近	
新規起業者数	0社	0社 → 5社	11社	◎	直近	

◆プロジェクト

指標	基準値（初期値）	目標値	実績値	達成度	実績値の時点	備考
ブランド特産品認定品目数	0品目	10品目	7品目	○	直近	
ブランド販売施設数	0施設	3施設	1施設	○	直近	
新規就農者数	4戸	10戸	12戸	◎	直近	
新規起業者数	0社	5社	11社	◎	直近	

【評価】

ブランド特産品認定品目数については、認証間近の商品もあり、目標の10品目まで概ね順調に進んでいる。また、課題があることから認証までは至っていない商品もあり、開発支援補助や研修会の開催などによる支援を行うことで、認証に向けた商品改良の手助けを継続していく。

ブランド販売施設が、なかい里都まちC A F Eの1施設のみであり、今年度実施する想定販路への意向調査などを通じて、どれだけ販売施設数を増やせるかは、重点的に取り組んでいきたいと考えている。

新規起業者数について、なかい里都まちC A F Eができたことで、店内の物販ブースを利用しハンドメイドの雑貨を初めて出品する方が7名いる。キッチンのシェフや主婦層をスタッフとして雇用するなど、働く場の創出という意味でもなかい里都まちC A F Eを整備した効果が出ている。

総合戦略事業 進捗状況

基本的戦略2 「里都まちスポーツ・情報の駅による交流促進戦略」

◇基本目標

指標	基準値（初期値）	目標値	実績値	達成度	実績値の時点	備考
交流人口	150,000人	150,000人 ⇒ 200,000人	181,087人	○	H29年度	
転入者数	384人	384人 ⇒ 440人	355人	△	H29年	

◆プロジェクト

指標	基準値（初期値）	目標値	実績値	達成度	実績値の時点	備考
スポーツ関連イベント参加者数	750人	1,500人／年	1,701人	◎	H29年度	
未病センター利用者数	0人	1,000人／年	400人	△	H29年度	
スポーツ実施率	25%	50%	-	-	-	調査必要
Wi-Fiスポット設置数	0か所	9か所	3か所	△	直近	
情報コンテンツ閲覧回数	0回	50,000回（累計）	15,100回	○	直近	
インターネット接続率	- 県：86.1%	80%	-	-	-	調査必要

【評価】

未病センター・なかい健康づくりステーションの利用促進を図るためには、きっかけづくりが必要になる。なかい里都まちCAFÉが今年度県の「未病いやしの里の駅」に登録をされ、パンフレット等に掲載されることで特に健康意識の高い方の来客増が期待される。したがって、なかい里都まちCAFÉで未病センター・なかい健康づくりステーションのPRを図っていきたい。また、別件で保健福祉センターに来院された方に声をかけて体験していただくなど、きっかけづくりとしてできることを身近なところから引き続き検討し実行していく。

Wi-Fiスポットについては、3施設に設置をし年間のランニングコストが約75万円かかる。利用状況を考慮しながら今後の増設等を検討していく。

総合戦略事業 進捗状況

基本的戦略3 「里都まち子育て応援戦略」

◇基本目標

指標	基準値（初期値）	目標値	実績値	達成度	実績値の時点	備考
出生数	43人	43人 ⇒ 61人	42人	△	H29年	

◆プロジェクト

指標	基準値（初期値）	目標値	実績値	達成度	実績値の時点	備考
こども園、保育園、幼稚園の園児の増加数	203人	+3人口	-6人 (197人)	△	H29年度	
小中学校児童生徒の転校の減少数	6人	-3人	-1人 (5人)	○	H29年度	
出生数の増加数	43人	+5人	-1人 (42人)	△	H29年	
ネウボラ設置数	0か所	1か所	1か所	◎	直近	
ネウボラ利用者数	0人	800人/年	778人	○	H29年度	
子ども居場所づくりプログラム数	4回	6回/月	17回	◎	直近	
多様な雇用形態実施企業数	0社	1社	5社	◎	直近	
三世代同居等推進事業助成件数	0件	3件/年	0件	△	直近	申請見込みが4件
里都まち暮らし応援隊員数	0人	10人	0人	△	直近	

【評価】

保育料や給食費を補助することによって、すぐに園児数や出生数が増加するとは限らないため、事業を継続しながら中井町が子育て支援としてどのようなことをやっているのかを周知し、子育てを応援してくれる町であるということをアピールしていく。

三世代同居等推進事業助成事業については、助成実績はないものの事前相談は複数あり、制度に関する関心は高いと評価している。まずは制度の認知度を高めることが必要であるため、各種媒体の活用やPRブース出展時などに積極的にアピールしていきたい。相談内容から、町外に住む子世帯または親世代が戻ってくる（転入してくる）のに、町民から相談を受けるパターンが多いため、町内向けの周知もしっかり行っていく。

里都まち暮らし応援隊員については、なかい里都まちCAFÉに町の情報を集め、スタッフ等により情報発信に努めていく。また、同窓会イベントを開催するなどして、中井町との関係が途切れないような取組みを展開していきたい。

総合戦略事業 進捗状況

基本的戦略4 「里都まち総合プロデュース戦略」

◇基本目標

指標	基準値（初期値）	目標値	実績値	達成度	実績値の時点	備考
利便性が向上したと感じている町民	62%	62% ⇒ 80%	-	-	-	調査必要
中井町を推奨している町民	41%	41% ⇒ 60%	-	-	-	調査必要

◆プロジェクト

指標	基準値（初期値）	目標値	実績値	達成度	実績値の時点	備考
中井町を推奨している町民	41%	41% ⇒ 60%	-	-	-	調査必要
利便性が向上したと感じている町民	62%	62% ⇒ 80%	-	-	-	調査必要
取材件数	0件	12件／年	20件	◎	H29年度	
小さな拠点認定数	0か所	2か所	0か所	△	直近	
オンデマンドバス利用者数	5,633人	7,000人／年 (H29年度末)	8,466人	◎	H29年度	

【評価】

町の特徴や魅力を町民に再認識させ、町と町民が一緒になってプロモーション活動を行うことで、町民の中井町を推奨する意欲を醸成する。なかい里都まちC A F Eに機能を集約させ、各プロジェクトの取組みを連携させながら拠点として活用していくことで、町の魅力を再発見してもらう。

また、株式会社ブルックスホールディングスやJ A Fと包括連携協定を締結しており、ブルックスショップ&カフェにオンデマンドバスの乗降ポイントを設置するなど、民間企業と連携した取組みを展開することで、さらなる町の魅力向上・情報発信を図る。

空き家バンク制度の活用を促進して、空き家を活用したサロンなどの拠点形成に向けて、情報提供などの支援を行っていく。